



参考文献

- [1] 青本和彦, 上野健爾, 加藤和也, 神保道夫, 砂田利一, 高橋陽一郎, 深谷賢治, 俣野博, 室田一雄編『岩波 数学入門辞典』岩波書店 (2005.9)
- [2] アミール・D・アクゼル『天才数学者列伝 数奇な人生を歩んだ数学者たち』(水谷淳訳) ソフトバンククリエイティブ (2012.7.6).
- [3] 市川伸一『勉強法が変わる本 心理学からのアドバイス』岩波ジュニア新書 350(2000).
- [4] 市川伸一『勉強法の科学』岩波科学ライブラリー 211(2013).
- [5] 伊原康隆『志学 数学～研究の諸段階～発表の工夫』シュプリンガー・フェアラーク東京 (2005).
- [6] 今井功『流体力学』物理テキストシリーズ, 岩波書店 (1970, 1994).
- [7] 今井功『複素解析と流体力学』日本評論社 (1989).
- [8] 浦坂純子, 西村和雄, 平田純一, 八木匡『理系出身者と文系出身者の年収比較 — JHPS データに基づく分析結果 —』経済産業研究所, 2011 年 3 月.
- [9] 浦坂純子, 西村和雄, 平田純一, 八木匡『高等学校における理科学習が就業に及ぼす影響 — 大卒就業者の所得データが示す証左 —』経済産業研究所, 2012 年 1 月.
- [10] H.D. エビングハウス他『数 上下』(成木勇夫訳), シュプリンガー東京 (2004.11).
- [11] 岡部恒治, 戸瀬信之, 西村和雄編『分数が出来ない大学生 – 21 世紀の日本が危ない』東洋経済新聞社 (1999.6.17).
- [12] 奥村晴彦, 黒木裕介『LaTeX2 ϵ 美文書作成入門』改訂第 6 版, 技術評論社 (2013.10.23).
- [13] 大矢雅則, 戸川美郎『高校–大学数学公式集 第 I 部高校の数学, 第 II 部大学の数学』近代科学社 (2014.11.30, 2015.1.31).
- [14] ヴィクター・J・カッツ『カッツ 数学の歴史』(上野健爾・三浦伸夫監訳, 中

- 根美知代, 高橋秀裕, 林知宏, 大谷卓史, 佐藤健一, 東慎一郎, 中澤聡訳), 共立出版 (2005) .
- [15] 蟹江幸博「臨床数学教育のすすめ」数学セミナー増刊『数学の教育を作ろう』(2002.10.30), pp.147-163.
- [16] 蟹江幸博「10 個の数で作る力学グラフ — 日本数学協会の発足に際して —」, 数学文化, 創刊準備号, 日本数学協会, vol.0, no. 1(2002.12), pp.75-94.
- [17] 蟹江幸博, 並木雅俊『文明開化の数学と物理』岩波科学ライブラリー 150, 岩波書店 (2008.11.6).
- [18] 蟹江幸博『微積分演義 [上] 微分のはなし』日本評論社 (2007).
- [19] 蟹江幸博『微積分演義 [下] 積分と微分のはなし』日本評論社 (2008).
- [20] 蟹江幸博編『数学用語 英和辞典』近代科学社 (2013).
- [21] 蟹江幸博『孫と一緒にサイエンス 数って不思議!!... ∞ 』近代科学社 (2016 年刊行予定).
- [22] ガリレオ・ガリレイ『天文対話 上下』(青木靖三訳), 岩波文庫 (1959).
- [23] 河合隼雄『こどもはおもしろい』講談社 α 文庫 (2005).
- [24] V. グーテンマッヘル, N.B. ヴァシーリエフ『直線と曲線 ハンディブック』(蟹江幸博, 佐波学訳), 共立出版 (2006).
- [25] Donald Ervin Knuth, *The Art of Computer Programming*, volumes 1-4(1997-2005), Addison-Wesley Professional. 1,2 巻に対応した日本語訳がサイエンス社から, 原著は刊行進行中なので, それを追いながらの翻訳がアスキーから出ている.
- [26] Donald Ervin Knuth, *The TeXbook*, Addison-Wesley Professional(1984). 日本語訳(鷲谷好輝訳, 1992) がアスキーから出ている.
- [27] 小林幹雄, 福田安蔵, 鈴木七緒, 安岡善則, 黒崎千代子編『数学公式集 新装版』共立出版 (2005.5.25).
- [28] 小前亮『広岡浅子 明治日本を切り開いた女性実業家』星海社新書 72(2015.9.24).
- [29] ロナルド L. グレアム, ドナルド・E. クヌース, オーレン・パタシュニク『コンピュータの数学』(有澤誠, 安村通晃, 萩野達也, 石畑清訳) 共立出版 (1993).
- [30] 小山透『科学技術系のライティング技法—理系文・実用文・仕事文の書き方・まとめ方』慶應義塾大学出版会 (2011).

216 参考文献

- [31] コルモゴロフ, フォミーネ 『函数解析の基礎 第3版 上下』(山崎三郎, 芝岡泰光訳), 岩波書店 (1979), 第2版 (1971).
- [32] イアン・ジェイムズ『数学者列伝: オイラーからフォン・ノイマンまで, I~III』(蟹江幸博訳), シュプリンガー・ジャパン (2005, 2007, 2011), 丸善出版 (2012).
- [33] 塩野七生『我が友マキアヴェッリ: フィレンツェ興亡』新潮社 (1987).
- [34] 塩野七生『ルネサンスとは何であったのか』新潮社 (2001).
- [35] 清水義範『いやでも楽しめる算数』講談社 (2001).
- [36] I.R. シャファレヴィッチ『代数学とは何か』(蟹江幸博訳), 日本評論社 (2009).
- [37] フェルディナン・ド・ソシュール『一般言語学講義: コンスタンのノート』(影浦峯, 田中久美子訳), 東京大学出版会 (2007).
- [38] 田中幸夫『卒論執筆のための Word 活用術 — 美しく仕上げる最短コース』講談社ブルーバックス (2012.10.20).
- [39] R. デーデキント『数について — 連続性と数の本質』(河野伊三郎訳), 岩波文庫 (1961).
- [40] 遠山啓『初等整数論』日本評論社 (1972).
- [41] 朝永振一郎『物理学とは何だろうか? 上下』岩波新書 (1979).
- [42] 日本数学会編集『岩波 数学辞典 第4版』岩波書店 (2007.3.15).
- [43] 野崎昭弘『詭弁論理学』中公新書 448(1976).
- [44] 野崎昭弘『人はなぜ, 同じ間違いをくり返すのか』ブックマン社 (2014).
- [45] E. ハイラー, G. ヴァンナー『解析教程 [新装版] 上下』(蟹江幸博訳), シュプリンガー・ジャパン (2006), 丸善出版 (2012).
- [46] 畑村洋太郎『回復力 失敗からの復活』講談社現代新書 (2009.1.16).
- [47] A.Ya. ヒンチン『数論の3つの真珠』(蟹江幸博訳), 日本評論社 (2000).
- [48] R・P・ファインマン『ご冗談でしょう, ファインマンさん』(大貫昌子訳), 岩波書店 (1986).
- [49] E.T. ベル『数学を作った人びと 上下』(田中勇, 銀林浩訳) 東京図書 (1962, 1976, 1997).
- [50] ボイヤー『数学の歴史 1~5』(加賀美鐵雄, 浦野由有訳), 朝倉書店 (1983).
- [51] G. ポリア『いかにして問題をとくか』(柿内賢信訳), 丸善 (1954).
- [52] ミルナー『微分トポロジー講義』(蟹江幸博訳), シュプリンガー数学クラシックス 6 (1998), 丸善出版 (2012).

- [53] 森口繁一, 宇田川金圭久, 一松信 『数学公式 I,II,III』 岩波全書 221,229, 244 (1956, 1957, 1960).
- [54] ユークリッド『幾何学原論』(中村幸四郎他訳), 共立出版 (1971), 『原論』エウクレイデス全集第 1, 2 巻 (斎藤憲・三浦伸夫訳), 東京大学出版会 (2008) .
- [55] 吉田洋一『零の発見 — 数学の生い立ち — [改版]』岩波新書 (1931,1956,1979).
- [56] E. ランダウ『数の体系 — 解析の基礎』(蟹江幸博訳), 丸善出版 (2014).
- [57] アルフレッド・レニイ (Alfréd Rényi) 『数学についての三つの対話 数学の本質とその応用』(好田順治訳), 講談社ブルーバックス (1975) .
- [58] 和田秀樹『なぜ数学が得意な人がエグゼクティブになるのか』毎日新聞社 (2012).